

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和6年度第2四半期（令和6年7月～9月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：148企業

（製造業：29社 建設業：20社 小売業：41社 サービス業：58社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

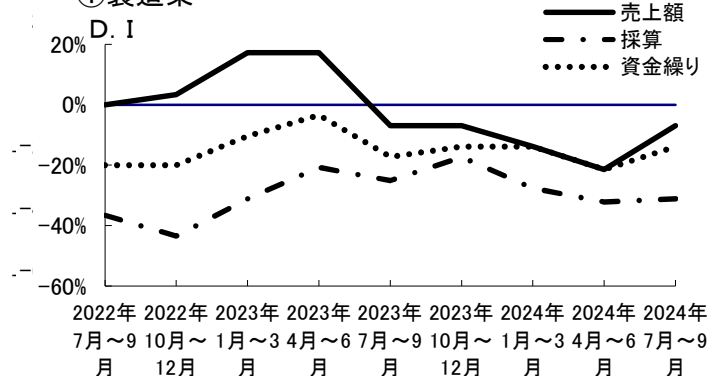
期 別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和4年 7～9月期		▲ 13.4		▲ 10.0		▲ 57.1		▲ 22.8		▲ 25.8
	令和4年 10～12月期		▲ 23.3		▲ 5.0		▲ 45.2		▲ 29.3		▲ 25.7
	令和5年 1～3月期		▲ 10.4		▲ 35.0		▲ 39.5		▲ 22.4		▲ 26.8
	令和5年 4～6月期		0.0		▲ 10.0		▲ 41.5		▲ 1.7		▲ 13.3
	令和5年 7～9月期		▲ 20.7		▲ 10.0		▲ 40.5		▲ 5.1		▲ 19.1
	令和5年 10～12月期		▲ 10.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 15.2		▲ 22.8
	令和6年 1～3月期		▲ 20.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 19.3		▲ 26.3
	令和6年 4～6月期		▲ 10.8		▲ 15.0		▲ 36.8		▲ 8.7		▲ 17.8
	令和6年 7～9月期		▲ 17.9		▲ 20.0		▲ 41.4		▲ 10.5		▲ 22.5
	令和6年 10～12月期		▲ 17.9		▲ 20.0		▲ 34.1		▲ 5.3		▲ 19.3

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



<前期比>

売上額 : 好転 (▲21.4→▲6.9 ポイント)

採算 : やや好転 (▲32.1→▲31.1 ポイント)

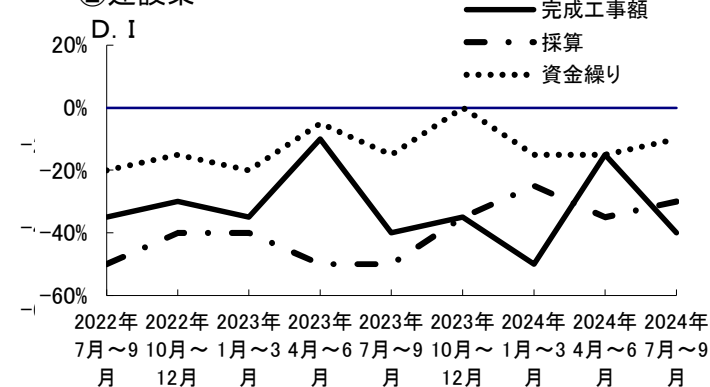
資金繰り : やや好転 (▲21.4→▲13.8 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 原材料価格の上昇 (46.4%)

2 位 : 需要の停滞 (17.9%)

②建設業



<前期比>

完成工事額 : 悪化 (▲15.0→▲40.0 ポイント)

採算 : やや好転 (▲35.0→▲30.0 ポイント)

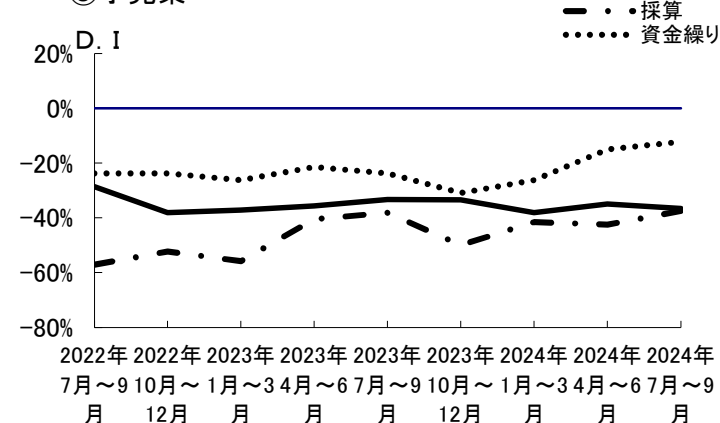
資金繰り : やや好転 (▲15.0→▲10.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 材料価格の上昇 (44.4%)

2 位 : 新規参入業者の増加・人件費の増加・事業資金の借入難 (11.1%)

③小売業



<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲35.0→▲36.6 ポイント)

採算 : やや好転 (▲42.5→▲37.5 ポイント)

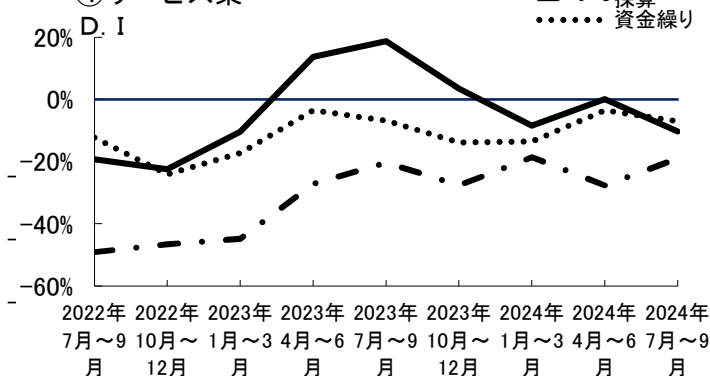
資金繰り : やや好転 (▲15.0→▲12.2 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 消費者ニーズの変化 (30.6%)

2 位 : 仕入単価の上昇 (25.0%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 悪化 (0.0 → ▲10.3 ポイント)

採算 : やや好転 (▲27.6→▲19.0 ポイント)

資金繰り : やや悪化 (▲3.5→▲7.1 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 材料等仕入単価の上昇 (39.2%)

2 位 : 店舗施設の狭隘・老朽化 (11.8%)